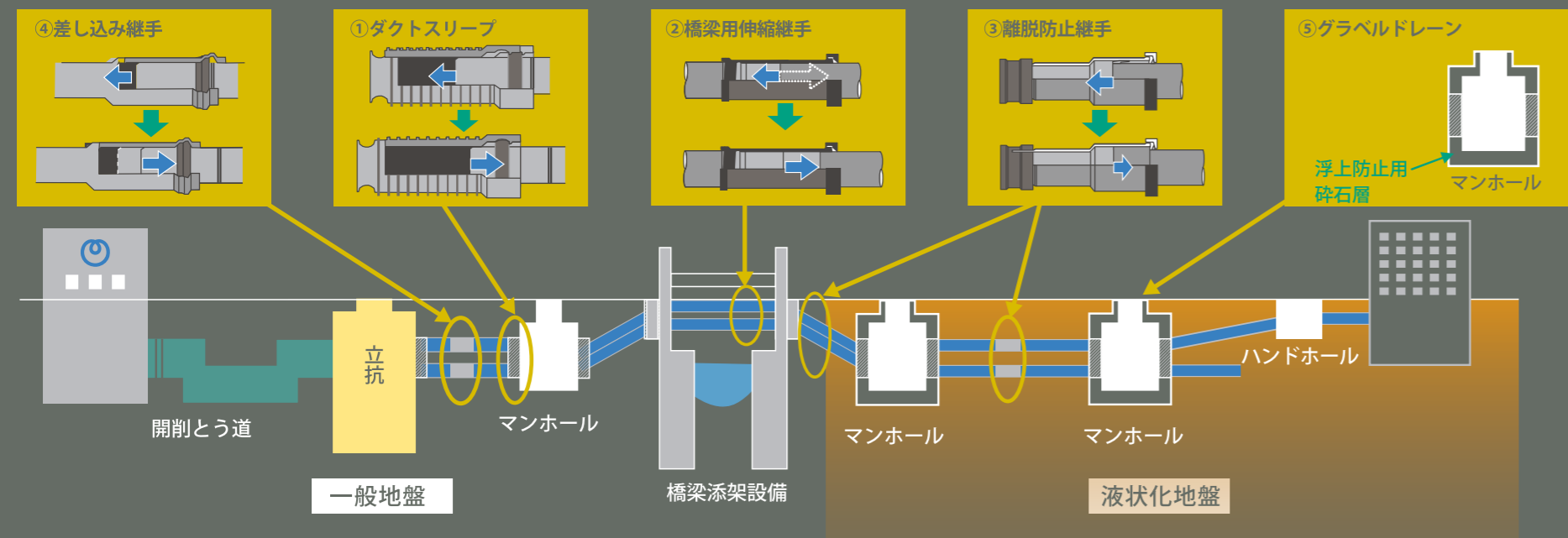
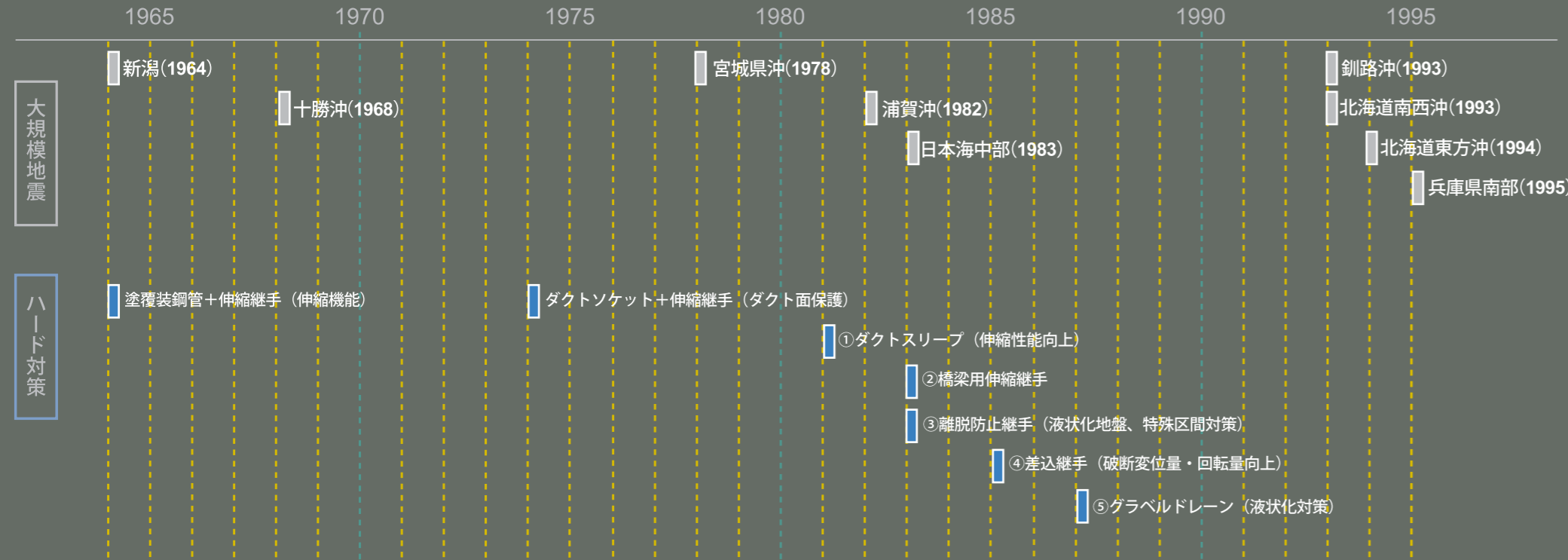


# 耐震技術の変遷

(阪神淡路大震災以前)

液状化対策に重点が置かれ、接続部に伸縮性能をもたせることで耐震性を確保  
設備新設時の対策技術が中心に検討された



(阪神淡路大震災以降)

社会インフラ全般の耐震基準向上に追従 (震度VIIクラスの性能設計指針)  
膨大な量の既存設備の耐震対策を如何に効率的に行うかを検討

